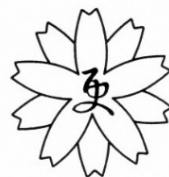


# 掛川地区 更女会だより

第104号 更女会だより

掛川支部担当

令和5年2月発行



## 『みんなとつなぐ「和」＝「輪」』

会長 大石 幸恵

皆様、お健やかに新年をお迎えの事と思います。

さて、去年の世相を表す漢字は「戦」。サッカーW杯の「戦い」など。サッカーW杯での日本代表チームの歴史に残る戦いぶりに、日本中の老若男女が元気をもらいました。また、森保監督の選手と誠実に向き合う人柄にも感動をしました。その森保監督が掛川市の倉真で誕生されたということは私たちの誇りでもあります。

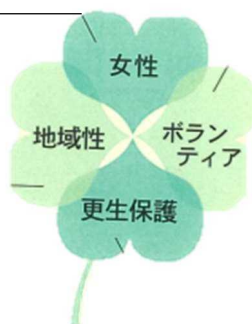
では今年度の私たち更女活動を表す漢字は何かと考えたとき、私は「和」という言葉が浮かびました。それは、12月の県理事会の折に県保護司会連合会会長様からいただいた「皆様の更女活動を見ていると4つのハートマークにある『女性の持つあたたかさ、こまやかさを生かした活動』に加え『力強さと元気の良さ』を感じた」というお言葉がきっかけです。

私は会長様のお言葉を聞いて、去年の台風15号で大きな被害が出て、駿府学園からタオル等が必要だという要請があったとき会員の皆様がすぐさま立ち上がってくれ、迅速に対応して下さったことを思い出しました。いざという時、このような活動が実行できるのは、組織として日頃から会員の皆様の「和＝輪」があればこそだと私は思います。今後も「和＝輪」を大切にしていきたいですね。

この3月で私たち役員16名は任期を終えます。会員の皆様のご協力のお陰で楽しく活動することができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。コロナ禍で制限がある中、多くの活動を通して皆様とつながりを広める事ができました。

令和6年度、私たち更女会は60周年を迎えます。先輩達から受け継いだ取り組みを次の未来へとつないでいけるよう共に活動しあいましょう。

女性の持つ  
あたたかさ、  
こまやかさを  
生かした  
活動です。



### 目次

- P1 みんなとつなぐ「和」＝「輪」  
(会長 大石 幸恵)
- P2 落雷見舞い  
(大須賀支部 大石 さかゑ)  
作文審査に係わって  
(掛川支部 和田とし子)
- P3 中電ウイング株式会社視察  
(大須賀支部 鈴木 睦子)  
(掛川支部 鶴田 久子)
- P4 台風15号による災害に御見舞い  
申し上げます  
(会長 大石 幸恵)
- P5 活動を通しての気づき  
(掛川支部 勝又 みさ子)
- P6 静岡県更生保護女性連盟  
結成60周年記念大会  
(大東支部 深津 きく江)  
(掛川支部 小澤 悦子)
- P7 更生保護女性会 会員研修  
(大須賀支部 田中 紀美枝)  
(大東支部 佐藤 穎子)  
(掛川支部 斎藤 昌子)
- P8 支部活動 掛川  
3年ぶりにけっトラ市に参加  
して  
(掛川支部 新堀 のり子)  
ききょう荘の花壇作り  
(掛川支部 橋本 富美枝)
- P9 支部活動 大東  
(大東支部 鈴木 あけみ)  
支部活動 大須賀  
(大須賀支部長 鈴木 睦子)
- P10 今後の活動計画

掛川市役所福祉課

掛川市長谷 1-1-1

TEL:21-1140 FAX:21-1163

掛川地区更生保護女性会

<http://kakegawa-koujyo.com/>

会長 大石 幸恵

## 『落雷見舞い』

大須賀支部 大石 さかゑ

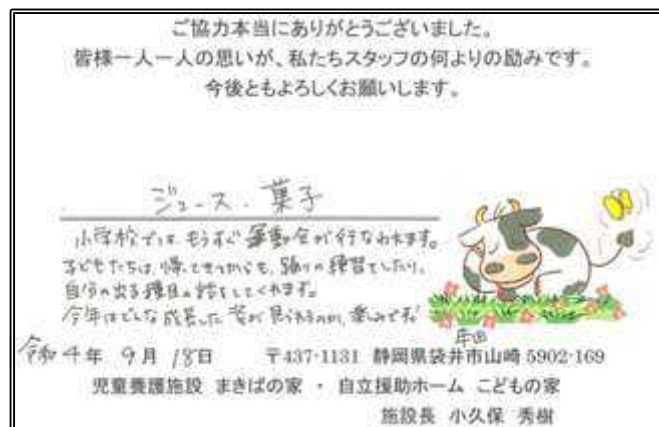
令和4年9月2日の台風11号は、大雨により各地に被害をもたらしました。

大須賀支部が年間を通してボランティア活動で訪問している児童施設“まきばの家”で落雷が発生し事務所内の保安器が被災、停電したとの事でした。厨房が稼働できないため、地元の食堂の方がお弁当を届けてくれ、また、子ども達は暗いのを恐がり皆で肩を寄せ合って寝たそうです。

子ども達を何とか励ましたいと、各支部長と相談し、地区更女会としてお菓子和ジュースをお届けしました。

このお菓子を分け合い楽しみながら少しでも明るい気持ちになってくれたらと思います。

一刻も早い復旧を願い、大石幸恵会長とまきばの家を後にしました。



## 『作文審査に係わって』

掛川支部 和田 とし子

“社会を明るくする運動”の作文審査に5回参加させて頂き、小・中学校の子ども達の考えが立派で関心させられると共に、現代の掛川地域の子ども達を取りまく環境から生き辛さを感じます。

今年は、一次審査51名を読ませて頂き、パソコンからでしょうか、よく調べてまとめられている内容が多かった中、ある不登校中男子の作品に目が留まりました。

その子の作文は書き方が規定外で、先生の手直しがされていない文章でした。読み進めていくと、作文用紙欄外に先生のメモ書きが書き添えられてありました。「規格外なので書き直ししたくても本人に書き直しができなくて、そのまま提出しました」と。作文の題も『社明運動』。私は引き込まれました。書いた子どもの現況から、生き辛い世の中で自分を守る為に不登校をしている切なる思いを、この運動で変えていって欲しいからだとわかりました。この思いをせめてこの地区の大人だけでも目を通してもらいたいので、二次審査へと残す事ができました。県の代表には選ばれませんが、「SOS(助けて)」の内容の息苦しさから、

いつか抜け出て、生き抜いていって欲しいと切に心から願うばかりです。

毎年、提出された作文を撰ぶだけでなく、大人が子どもにどんな事なら手助けできるのか考え、具体的に動いていき、未来を託す子どもの手助けとなり、それがさらにつながっていき、少しでも変わっていかれたらと、子どもの心の叫びを読ませていただき、深く大人の責任を痛感いたしました。



第72回 “社会を明るくする運動” 作文コンテスト表彰式

### 『感動の9月22日』

大須賀支部 鈴木 睦子

障がい者の雇用促進を目的に、名古屋市に設立された“中電ウイング”へ役員視察を行いました。

中部電力100%出資の特例子会社で、ともに飛翔するようにと願いを込めたネーミングだそうです。

デザイン部門や経理課で仕事をこなす身体障がい者の方12人。またアグリ事業部で花苗や苺の栽培、花壇の管理や、支社で文春の集配や商品の梱包に携わる知的障がい・精神障がいの方119人を含む、241人の従業員で運営されています。

私達の手許に届くカタログや広報誌もここから配信されていると判ったら、この会社がとても身近に感じました。

従業員のみなさんは生き生きと礼儀正しく、お仕事をされていました。私達が見学させていただく道すがら「いらっしやいませ！」と仕事の手を

止め起立して迎えて下さいました。各部署での担当者からの説明は、仕事の内容や工夫していることを、はっきりと手話を含めてご案内いただきました。

また従業員さんのユニフォームは、部署によって腰を痛めないよう配慮されたデザインであり、すべての人が働きやすい整った環境に会社の思いやりと、ここで働くみなさんの充実した毎日に拍手を贈りたい思いでした。

経営理念として掲げられている「ここで働くだけでもが力と心を合わせて夢に挑みながら共に成長！」会社と人が出会って、個性と仕事が出会って、それぞれが光り輝く会社。こんな職場がもっとたくさんできたなら、人々が幸せに生きていける社会への一歩になれるのではないのでしょうか。

とても感動した一日となりました。

### 中電ウイング株式会社を見学して

掛川支部 鶴田 久子

中部電力株式会社100%出資の特例子会社として設立された会社である事を聞き、なる程と納得しました。初めに会社説明があり、次に各部署を見学させていただきました。まず驚いたのは、それぞれの部署の説明をしてくれたのは、障がいを持って入社した社員でした。淀みなく、さらさらと説明できた人もいましたが、自分で書いた紙を時々見ながら説明してくれる人もいました。

私は障がい者の娘を持ち、その親の会で各施設を見学させていただきましたが、どこの施設も説明は管理者でした。また各部署でどの人が障がい者で、どの人が健常者なのか分からない程、私達が入室すると皆さん立ち上がり、きちんと挨拶をしてくれました。社訓が行き届いてい

ると感心しました。

管理者の方に「どの様な方が（特別支援学校卒業生等）入社されているのですか？」と伺うと「自宅から公共機関を利用して出社できる方」という返事でした。掛川市にもこの様な施設ができることを願います。



中電ウイング株式会社 視察

## 『台風15号による災害に御見舞い申し上げます』

会長 大石 幸恵

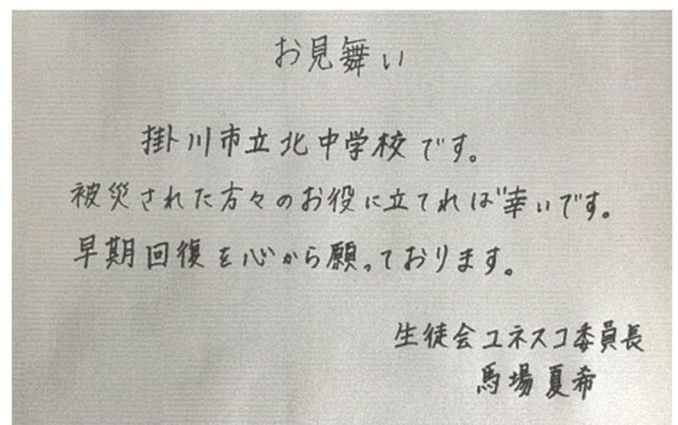
9月29日の理事会の折、台風15号による県内の被害状況を受け、被害の大きかった清水区にタオルを送る事になりました。その日の夕方、県事務局より「駿府学園が浸水したので雑巾が欲しい。タオルでもいいので直接送ってください」とメールが届きました。即、支援先変更を支部長に連絡。会員さんへの協力依頼をしました。翌日、驚く程沢山のタオルや雑巾が届き、第一便で10kg強（約200枚）を送ることができました。

その翌日、駿府学園の園長先生から「タオルが届きました。一昨日のお願いにも関わらず、迅速な対応をしていただき大変助かります。床上浸水となり、泥にまみれた園舎や体育館の清掃に有難く使わせていただきます。園生も一生懸命作業したり、地域の被災先でボランティア活動に取り組んでいます。更女の力は素晴らしいですね」とお礼のお電話をいただきました。

各施設からいただいたお礼状は、副市長講演会の折、会場に掲示させていただきました。

その後に集まったタオル類は仕分け作業をし、第二便として10kg強を3箱、駿府学園に送りましたが、その内1箱は、掛川北中生徒会ユネスコの生徒達が仕分けしたタオルも含まれております。また、掛川市地区協力雇用主会からもご協力いただきました。その他のタオル類は市内の6施設にお届けしました。

急なお願いにもかかわらず皆様のご協力に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



掛川市立北中学校



各施設からのお礼状

小笠老人ホーム、かけかわ苑、ききょう荘、おおすか苑、駿府学園、東遠学園、まきばの家からお礼状をいただきました。



## 『活動を通しての気づき』

掛川支部 勝又 みさ子

東遠学園の草取りに参加しました。多くのボランティアの方々が懸命に作業された為か、あっという間にきれいになり、利用者の皆様が気持ち良く過ごせる環境が整いました。

保護観察の少年達にもとても温かな声をかけて

いて私も社会の一人として、とても参考になりました。この様な活動がある事すら知りませんでしたから、視野が広がりました。いろいろな人の支えがあって成立していることが多いんだろうな、と今更学んだ活動でした。



掛川地区更生保護女性会

会長 大石幸恵 様

拝啓

穏やかな小春日和が続くこの頃、お健やかに過ごしのことと存じます。先日は、保護司会の社会貢献事業へのご参加のうえ、皆さんが時間をかけて縫っていただいたお雑巾を頂戴し、ありがとうございました。

当組合は、掛川市、菊川市、御前崎市、森町の3市1町で作る一部事務組合となります。

昭和46年に菊川の地で知的障がいのある子ども達の為の施設として始まり、時は流れ50年が過ぎました。現在は、東遠学園児童部（福祉型障害児入所施設）、東遠学園青年部（障害者支援施設）東遠地区生活支援センター（相談部・サービス部）こども発達センターきためばえ（児童発達支援センター）を菊川市西方で、また掛川市板沢にこども発達センターめばえ（児童発達支援センター）、御前崎市新野にこども発達センターみなみめばえ（児童発達支援センター）と6事業所を運営しています。皆さんに知っていただけますようにホームページやツイッターもありますので、是非ご覧いただけたらと思います。

お雑巾は、何枚あっても困らないもの。たくさんあったと思えば、すぐになくなってしまいます。学校へ通う子ども達は、新学期には2枚、夏休み明けには2枚などと学校から持ってくるように言われることも多く、大変ありがたいです。

小さなご縁かもしれませんが、地域の皆さんの支えこそが、支援にあたる職員にとっても頑張りの力になります。ありがとうございました。

秋の深まりとともに寒さも増してまいります。どうぞご自愛くださいませ。

敬具

令和4年11月1日

東遠学園園長 杉原充子

東遠学園長からのお礼状

## 『60周年記念大会に参加して』

大東支部 深津 きく江

静岡県更生保護女性連盟結成60周年記念大会が10月4日、グランシップ中ホール・大地で開催されました。県下の更女会員が一堂に集いこれを祝うとともに、会員相互の意識の高揚を図り決意を新たにして、地域社会に貢献できる更女の会活動の一層の充実と発展を期そうとするもので、参加者更女会員と来賓の方合わせて500名、記念式典での表彰・感謝状受賞者169名、静岡保護観察所長様をはじめ日本更女連盟会長千葉景子様ほか、大勢の来賓の臨席のもと、盛大に開催されました。午後は記念講演フリースペースたまりば理事長西野博之様の演題「困難を抱える若者たちのSOSに気付く」がありました。

初めて参加した私は、会場一杯の人に驚くばかりでした。本当に更女のご来場の方々にパワーを感じびっくりしました。

私のようなものに感謝状を受けるよう推薦してくださって有難うございました。積極的に活動することなく、会員として何年か在籍していただけたのに本当に申し訳なく、有難うございました。

これからも誰もが心豊かに生活できる明るい社

会作りのために頑張りたいと思います。しかし、80歳を超えた今、身体のおちこちが痛み出し、夫と2人で病院通いが増え、忙しい日々を過ごしています。更女の活動に今後若い会員さんが増えますよう、そして更女会の益々の発展を願っています。

静岡県保護観察所長感謝状 授与

掛川支部 斎藤 昌子

大須賀支部 大石 さかゑ

大東支部 深津 きく江

静岡県更生保護女性連盟会長表彰は、60周年にあたり、10年に一度の表彰として更女活動に尽力をされた方々に県の会長より表彰されました。

静岡県更生保護女性連盟会長表彰

掛川支部 伊藤 啓子

大須賀支部 鈴木 睦子

大東支部 宇田 直恵

## 『県更女連盟結成60周年記念大会に出席して』

掛川支部 小澤 悦子

県更女連盟が還暦を迎えました。おめでとうございます。この栄えある式典に参列できる機会をいただき、ありがとうございました。先輩たちが築いてきたこの会が、継続している事に感無量です。

10月4日、19人の会員と共にグランシップへ。式典開始。まずは国家斉唱、「御歌」斉唱。ピアノ伴奏は、なんと2年間お世話になった、県更女連盟杉山事務局長ではありませんか！素晴らしい特技をお持ちだったのですね。歌は、コロナのため合唱はできず、オペラ歌手のような女性の斉唱。この方は、更女会員と聞き2度びっくり。「綱領」「信条」も心の中で唱和しました。次は顕彰。掛川市からも6名の会員が該当でした。午後は、県更女連盟活動ビデオを視聴。次は、記念講演。認定特定非営利活

動法人フリースペースたまりば西野理事長による「困難を抱える若者たちのSOSに気づく」が演題。

川崎市にある「たまりば」は誰もが安心して過ごせる居場所の開設と運営をしているそうです。不登校、ひきこもりなどで悩む本人や家庭の相談や援助を行う団体とのこと。子どものSOSは、「お腹が痛い」と訴えるとか、目をパチパチするチック症、大声を出す、手洗いばかりを続ける等があるそうです。「がんばれ！」はプレッシャー。「がんばっているね」と言い換えが大事。「あなたがいてくれて幸せだよ。生まれてくれてありがとう」「迷惑かけてお互い様だよ」「まずは大人が幸せでいてください」。これは、講師の言葉です。

久しぶりに、心に残る講演会でした。

## 『副市長さんとの出会い』

大須賀支部 田中 紀美枝

令和4年4月より副市長に就任され、早々に大須賀支所にて講演を伺えると楽しみにしていました。初めての出会いは、春の横須賀のお祭りでした。

就任3日目、初めてのお仕事だと伺いました。何とさわやかで可愛らしく元気あふれる素敵な方と、短い時間でもそのお人柄がにじみ出ていました。周りのおじ様達にもその様子が伝わり「これか

らが楽しみだ、よく来てくれた」と心躍らせていました。

先に歩いて行かれる黄色のコートを着た後ろ姿が、法被姿の若人達の中を進みつつ、なぜか光輝いて周りを明るく照らしているかのように眼に映りました。静岡新聞のコラム、窓辺投稿も楽しく読ませていただいておりますが、お考えもみえます。女性としての目線、NECという企業で携わった豊富な経験、そしてご専門のIT、デジタル技術で是非安心して誰もが住みたくなるまち掛川に。アクセスの良さ、環境の良さを生かし「未来よし」の掛川へどうぞお力を存分に発揮して下さい。

今回の講演を通して、私達更女の活動も御理解いただき大変意義深い講演会でした。掛川市の未来と発展にますますご尽力いただけることを期待しています。私達も「できる時にできる事」を続けて頑張っていきます。



副市長の講演

## 『副市長講演会に参加して』

大東支部 佐藤 穎子

私はこの町で生まれ育ってきました。この町が大好きです。井の中の蛙です。

他県より掛川市にお越しいただき、我が町掛川市に熱い想いをかけていただき、掛川市の発展の為に奮闘するお話を拝聴しまして、感動致しました。本当に有難うございました。

## 『副市長石川紀子様研修に参加して』

掛川支部 斎藤 昌子

2022年の掛川市政に民間応募で選ばれた掛川市初の女性副市長石川紀子氏が就任されました。

本日は石川紀子副市長をお迎えし、着任のきっかけ、掛川市の印象など拝聴いたしました。

副市長さんが前職にNECに勤務されていたり、掛川市の伝統工芸品「葛布」のボランティアを経験されたりして掛川市との不思議なご縁を感じました。

2023年1月、テレビデータ放送を活用した情報

発信をするようです。シニアの私にはいろいろとついていけない難題でもあります。

また、静岡の台風被害を受けた「少年の家」に床上浸水した汚れを落とす為のタオル、雑巾を会員が迅速に集め、すぐに送る事ができた私達の活動を喜ばれました。

女性の立場から民間の感覚を市の行政に反映させて、より良い掛川市を創っていこうという意気込みを強く感じました。

## 掛川支部

### 『3年ぶりに けっトラ市に参加して』

掛川支部 新堀 のり子

毎月第三土曜日の午後9時からお昼まで掛川駅前通りにて、軽トラックの荷台に商品を並べて販売する“けっトラ市”が行われています。

コロナ前は保護司の方々と一緒に、社会を明るくする運動の強調月間である7月や11月のけっトラ市で、更生保護のPR活動を行ってきました。

しかし、コロナの行動制限により、市が開かれなかったり、参加を見合わせたりしたため、令和4年11月19日のけっトラ市には3年ぶりに、伊藤支部長はじめ理事や会員5人で参加しました。

コロナ前に比べるとお店が少なく、買い物客も減少していたように思います。でも保護司の皆さんとパンフレットなど配り、道行く人に犯罪予防や構成保護の取り組みをPRしました。一般の方々には、保護司の役割やどんな活動をしているのか、更生保護とは何かなど知らない人がほとんどで、わかっていただくのは、なかなか容易なことではないと感じました。

また、けっトラ市ではPR活動とあわせて、更女会の会員から提供された手作りのアームカバーや帽子の布製品、手芸のバラの花が付いた美しい小瓶、季節の柿や里芋、チューリップの球根など売って、会の活動資金を得ることができました。

これからも機会があれば、更生保護女性会のいろいろな活動に参加したいと思います。



けっトラ市及び大須賀区域のまち協祭の売り上げの一部を、静岡の少年の家に寄付しました。

### 『ききょう荘の花壇作り』

掛川支部 橋本 富美枝

11月25日（金）、青空のもと、ききょう荘職員の皆さん、利用者さん、更女会員で花壇作りをさせて頂きました。

暑い6月の草取りの時には、理事の和田さんご夫婦が耕運機を持参して下さり、大活躍！（感謝感謝）今回は、皆手にスコップを持ち、地面に向かっての作業です。

まず、咲き終えた夏のお花を抜いてから、土作りです。職員さんが自家用車で運んで来て下さいました。独特の臭いで、サラサラの“豚ぷん”を沢山入れて、土と混ぜ合わせると、ふかふかの土が出来上がりました。そこに色とりどりのビオラ、会員さんが育てて下さったつるこざくら、ストロベリートーチ、そしてチューリップの球根を一杯、所狭しとばかりに定植できました。

皆それぞれに、あだこうだとお話をしながらの作業でとても楽しい一時となりました。

春には、大きな桜の木の下で、みごとな花々が咲き乱れる事を思い描きながら記念写真に納まりました。

春には、皆でお花見ができるといいね。



## 『大東交流センターフェスタ』

大東支部 鈴木 あけみ

本年は3年ぶりのフェスタ。感染予防対策として、11月27日から12月26日までの1ヶ月、展示のみで開催されました。パネル1枚に大東支部の活動を紹介しただけのシンプルな掲示と、入会お誘いパンフレットを机に置きました。掛川地区の活動を通して、全体像を紹介し、その中の大東支部としたかったのですが出来ずに、ささやかなブースでした。多くの人に更女の活動を伝え、理解いただき、新しい仲間へと進められたら嬉しいです。なお、来場者に喜ばれたのは、ホゴちゃんのぬり絵でした。



## 大須賀支部

## 『大須賀支部 まち協祭に参加して』

大須賀支部長 鈴木 睦子

更女会活動PRを目的に、各地区のまち協祭に参加しました。各地区ともに、地区の一般会員さんに、地域活動として参加をお願いしました。

会場では、活動ポスターの掲示・会員募集チラシの配布と共に、皆さんに関心を持っていただけるよう、ご協力をいただける会員さんをお願いし、手芸品販売を行い、約100部のチラシをご来場の皆様にお渡しすることができました。

男性のお客様が「家に戻って、家内に早速こんないい活動があることを伝えます」と言ってくださり、また、まち協役員さんからは「更生保護女性会

の存在を知らなかった。今回の事で活動内容を知って今後も協力をさせてもらいたい」と嬉しい場面がたくさんありました。

参加に御協力いただいた皆様にお礼を申し上げます。また、今後も地域ごとに、地域の皆様に知っていただくことから、地道に活動PRと会員拡大をしていくことが必要と感じました。

両日のバザー売上金の一部を2月に大須賀支部が担当する「少年の家夕食作り」の折、少年の家にお届けすることになりました。

## ～編集後記～

今回の更女会だよりは、コロナ禍、災害等厳しい状況の中で、様々な工夫、配慮をしながら多くの事を学び体験をしました。そして、その際の貴重な感動や思いを寄稿して下さいました。まだ先の見えないコロナウィルスです。私達はこの状況に負けないパワーで次年度を迎えましょう。

掛川支部

## ★更生保護女性会へのお誘い★

「出来る時に、出来る活動を！！」  
と声をかけあっています。  
～一緒に活動しましょう～  
各支部長までご連絡ください。

※更女会の活動は、「掛川地区更生保護女性会」のホームページにアップされています。是非ご覧ください。



## ～今後の活動計画～

| 月 | 日  | 事業                    | 場所         |
|---|----|-----------------------|------------|
| 3 | 15 | 冠講座「思春期セミナー」 11:00～正午 | 県立横須賀高校体育館 |

## 【お 知 ら せ】

令和5年度の総会を、5月24日（水）午後1時30分から大東市民交流センターにおいて開催を計画しています。

詳細は追ってご連絡いたします。

その際、1円玉募金の御協力もよろしくお願いします。

